業務時間：8：30～17：30

施設案内

休所日：毎週月曜日
（月曜日が祝日の場合、その翌日）

どんな施設なの？

社会教育の振興に資することを目的に設置された施設です。

誰でも利用できるの？

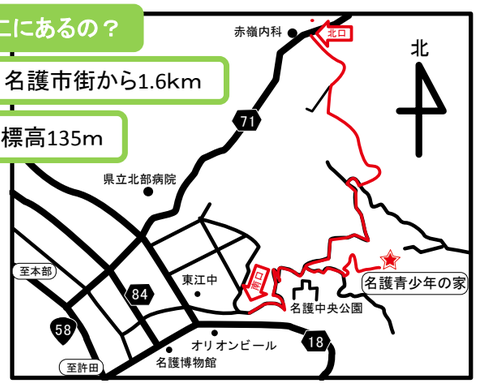
2名以上の団体なら、家族でもサークルでも、企業や職場の仲間でも誰でも利用可能です。

何ができるの？

- 自然体験活動
- 団体宿泊訓練
- スポーツ
- 各種研修
- ワークショップ
- 野外プログラム

どこにあるの？

- 名護市街から1.6km
- 標高135m



設備は？

- キャンプ場
- 運動広場
- 天体観測デッキ
- ハイキング・登山コース
- 浴室
- 食堂
- 研修室
- 宿泊室
- 体育館
- 講堂

ご予約からご利用までの流れ

1. 利用希望日が決まったら、お電話ください。「空き状況」を確認します（仮予約）。
2. 利用予定日の1ヶ月前までに、申請書※をご送付ください（本予約）。
3. 利用予定日の2週間前までに、スタッフと打ち合わせや施設の下見を行います。
4. ご利用日当日は、スタッフが適宜研修をサポートいたします。

※申請書は当施設HPよりダウンロードしてください。

◆ 宿泊・施設利用料金

種類	宿泊室	キャンプ場（テント泊）	野外炊飯（薪代）	研修・訓練室 ※団体あたり	体育館・講堂 ※団体あたり
児童・生徒	３００円／人	１５０円／人	５０円／人	１５０円／時間	３５０円／時間
学生・一般	６００円／人	２５０円／人	５０円／人	３５０円／時間	７００円／時間

※学校等の教育課程に基づく教育活動で利用する場合、予め免除申請書を提出いただければ、高校生以下の児童・生徒の利用料金が免除されます（但し、食事代とシーツ代、薪代は別途必要となります）。

発行　2013年(平成25年)　12月11日 (水)

沖縄県立
名護青少年の家
Okinawa Prefecture Nago Youth Center

名護市名護5511
TEL：0980-52-2076　FAX：0980-52-3082
http://www. opnyc.jp/

指定管理者
一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation

ブログ
も見てね！
QRコード
http://www.opnyc.jp/
スタッフブログ

年末年始の休所日について

十二月二十九日～一月三日は休所日となります。皆さん良いお年を！

年月が流れるのは早いもので、今年も残すところあと1ヶ月となりました。12月は別名「師走」とも呼ばれますが、その由来は僧侶（師は、僧侶の意）が仏事で走り回る忙しさ（平安後期編『色葉字類抄』）からという平安期からの説があります。

話は変わりますが、当施設は平成25年12月29日（日）～平成26年1月3日（金）までの6日間は年末・年始の休所日とさせて頂きます。皆さんのご理解よろしくお願いします。

名護岳に咲く花々 Vol.8

センリョウ（仙蓼／千両）
センリョウ科　センリョウ属
学名：〈*Sarcandra glabra*〉

沢コースにて撮影(11月17日)

センリョウ科の常緑小低木で、山地の自然林の林床に育成する。日本では南関東・東海地方～九州・沖縄、国外では東アジア～インド、フィリピン等の温帯から亜熱帯地域の広い範囲に分布します。

樹高は50～100cm。葉は対生。花は黄緑色で3～6月頃に咲き、茎の先に穂状花序をつくります。花には萼片と花弁がなく、花をつける茎に緑色の雌しべが付き、その側面に薄緑色の雄しべが直接付く変わった姿をしています。果実は多肉質な液果で10月頃から赤く熟し、翌年2月頃まで見られます。

被子植物であるが導管がなく、根や茎での水の吸い上げは裸子植物と同じ仮導管(かどうかん)に頼っています。花のつくりの特殊性とともに、原始的な性質を表す特徴と考えられています。

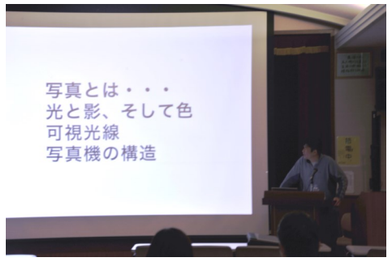
センリョウ(千両)は名前がめでたいのでマンリョウ（万両）と並んで正月飾りに欠かせないの縁起木のひとつです。

専門職員　宮城　徹

事業報告

自主事業　ネイチャーフォト教室

沖縄美ら島財団の自主事業「ネイチャーフォト教室」を11月23日、県立名護青少年の家で開催しました。写真家の加藤文雄さんを講師に迎え、約20人の皆さんが名護岳のハイキングコースでの撮影会などを行い、自然の中での写真撮影のポイントを学びました。



写真の取り方について講義をする加藤氏

加藤さんは、大阪府在住の海洋写真家で、世界中をフィールドにネイチャーフォト撮影で活躍しています。また、当財団が管理する海洋博公園のバンドウイルカ「フジ」の「人工尾びれプロジェクト」に参加していて、今回は同プロジェクトの10周年記念イベントで来沖。併せて当所での講義依頼も快諾していただき、本事業を開催することができました。

この日は、受講者の皆さんに初心者の方が多いということもあり、初めに座学でカメラの構え方など写真撮影の基礎を重点的に、丁寧でわかりやすい講義が行われました。その後、昼食を全員で摂って交流を深め、おまちかねの撮影会へと移りました。

写真を撮る参加者

場所は名護岳の「沢コース」で、やんばるの豊かな自然の中をハイキングしながら、ネイチャーフォト撮影を行いました。受講者の皆さんは、アングルや光の取り入れ具合などを工夫し、さまざまなカットの撮影に挑戦。積極的に加藤さんに質問し、加藤さんも気さくにアドバイスを行うなど和やかな雰囲気で、約1時間半かけてじっくりと自然観察しながら撮影を楽しんでいる様子でした。

最後には写真の評価も行われ、加藤さんから丁寧なアドバイスがあり、受講者の皆さんは、よりネイチャーフォト撮影のおもしろさを実感することができた様子でした。

加藤さんは、「今回の名護岳は、ヒカゲヘゴとクワズイモのコラボレーションが印象的でした。季節によって、さまざまなラブリーでダイナミックな写真が撮れそうですね」とにっこり。受講者の志良堂君奈さん(名護市)は「写真は初心者で、いいものが撮れるかドキドキしていましたが、加藤先生に優しく教えていただいて、とても楽しい時間を過ごすことができました。名護の自然にじっくりと触れられたのもよかったです。今度は花がたくさん咲いていたり、生物たちももっと出てくるころにチャレンジしたいと思います」と笑顔で話してくれました。

〈担当者・古網主任専門職員より〉

初めての事業ということで、どれぐらいの参加者が集まってくれるか心配をしていましたが、募集開始より多くの問合せがあり「ネイチャー写真」に対する関心の高さが窺えました。今回、講師で来ていただいた加藤先生からも、次回は春か初夏にもやってみたいと言っていただけました。今後も質の高い事業も継続していけるよう取り組んでいきたいと思います。

[文：ボランティアスタッフ　まえかわあやこ(ライター)]

ipadを使用し写真の講評をする加藤氏

● 事　業　案　内 ●

自主事業　クラフトキャンプ

1　趣　　旨：親子のふれあう場とする。
　　クラフトを作ることにより、ものづくりの楽しさを味わう。
　　自然とのふれあいを通して、自然の崇高さと畏敬の念について考える。

2　期　　日：平成26年1月18日(土)12:30　～　1月19日(日)12:00

3　場　　所：沖縄県立名護青少年の家(キャンプ場、野外炊飯棟及び本館)

4　対　　象：親子25名程度(小学生以上)

5　参 加 料：2，000円／人(大人、子ども同一料金)

6　募集期間：平成25年12月19日(木)～平成26年1月10日(火)　8:30～17:30
　　※月曜日(月曜日が祝祭日の日はその翌日)は休所日となります。
　　※定員に達し次第締め切ります。

7　持 ち 物：①洗面用具・風呂具（男女別）②着替え ③懐中電灯 ④帽子　⑤水筒
　　⑥雨合羽(雨天移動時) ⑦牛乳パック(大) 1人につき２箱（朝食で使用）
　　⑧マイコップ　⑨防寒着　⑩銀マット

自主事業　女子キャンプ

1. 趣　　旨：テント泊や野外炊飯など野外活動にチャレンジする機会を提供する。
　　キャンプに興味のある仲間を見つけ交友関係を広げる。

2. 期　　日：平成26年2月22日（土）13：00 ～ 2月23日（日）12：30

3. 実施場所：沖縄県立名護青少年の家

4. 対象/募集人数：一般女性20名（キャンプ初心者の方）

5. 参 加 料：1,700円/人（保険料、食費、消耗品など）

6. 募集期間：現在受付中　～　2月14日（金）8:30~17:30
　　※毎週月曜日は休所日となっています。
　　※募集期間にかかわらず定員に達し次第締め切ります。

平成26年1月25日に「名護青少年の家祭り」、26日には「なんぐすく桜見ウォーク」もあるよ。ホームページをチェックしてね。

詳しくは名護青少年の家までお問い合わせ下さい。